



全管協ニュース

発行所 一般社団法人 全国管洗浄協会

〒105-0004 東京都港区新橋 5-10-6 川村ビル7階 TEL 03 (6432) 4530 FAX 03 (6432) 4531
https://www.zenkankyo.jp E-mail: info@zenkankyo.jp 発行人 上之原 靖

第52回建築物環境衛生管理全国大会 当協会技術委員が継続実験結果を報告

第52回建築物環境衛生管理
全国大会式典の様子

表彰された馬場専務理事



同小久保あや技術委員

(公財)日本建築衛生管理教育センターは1月23・24日の2日間、東京・一ツ橋の日本教育会館一ツ橋ホールで「第52回建築物環境衛生管理全国大会」(当協会後援)を開催しました。研究集会では、当協会の技術委員会が「ディスポーザ排水配管における管洗浄実験(その2) 排水横枝管の特性」と題した事例報告を発表(2ページ参照)。また、23日の式典では、功労者として馬場孝之専務理事、小林博理事、第51回大会での研究集会(事例報告)で最優秀賞を受賞した技術委員会の小久保あや委員が表彰されました。

今回の大会は、「建築物の安心・安全と衛生管理」をメインテーマとし、2日間にわたり特別講演、専門講座、シンポジウム、研究集会・事例報告が開催されました。

23日の昼に開催された式典では、建築物環境衛生分野における功労者を表彰しており、2024年度は厚生労働大臣表彰を当協会の馬場孝之専務理事(日本滌化化学㈱)、(公財)日本建築衛生管理教育センター会長表

理事長と表彰式に出席したお二人
(左から馬場専務理事、上之原理事長、小久保あや技術委員)

彰を小林博理事(オホーツク美装興業㈱)が受賞しました。また、第51回大会で発表した事例報告(「ディスポーザ排水配管における管洗浄実験」が研究集会・事例報告部門の最優秀賞を受賞したことから、小久保あや委員も表彰されました。

6月23日に第23回定時総会を開催します

一般社団法人全国管洗浄協会は、第23回定時総会を2025年6月23日(月)に、東京・港区新橋の第一ホテル東京で開催します。5月初旬に会員の皆様にお届けする総会案内と議案書をご確認ください。

研究集会で佐藤委員が事例報告

研究集会・事例報告では、23日16時すぎからの「建築物の給排水」セッションで、「ディスポーザ排水配管における管洗浄実験(その2) 排水横枝管の特性」(発表者・佐藤恭輔氏(㈱マルシンビルサービス)、共同研究者は技術委員会の難波信二、佐藤昭仁、齊藤将一、西川昌樹、生酒猛、高岡ジョージ、上野雄治、大野隆次、小久保あや、渡辺拓の各氏)と題し、事例報告を行いました(前号参照)。

技術委員会では、第50回大会からディスポーザ排水処理システムにおける粉碎物の堆積状況の調査と、高圧洗浄による効果的な清掃方法について研究を行っています。今回は、既報調査による分析データを基に、ディスポーザ本体直近の排水横枝管を想定し、ノズル挿入方向、曲がり数や配管長が、管洗浄時において破碎残渣物搬送性能に及ぼす影響について、2024年8月に実施した実配管・実破碎卵殻を用いた実験による検証結果を報告しました。



事例報告する佐藤委員

佐藤委員は、動画で実際の状況を示しながら、排水横枝管においても下流からの洗浄が優位であること、排水立て管に流入する直近に掃除口を設置することによって下流部から上流方向への効果的な洗浄が可能になることを説明しました。

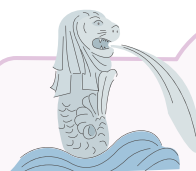
報告終了後には、会場から高層マンションにおけるディスポーザの排水構造と実験の前提となる横枝管についての質問がありましたが、佐藤委員はディスポー

ザが設置されている専有部台所排水口から共用立て管につながる横枝管を前提としたことを説明。また、座長の明治大学・坂上恭



研究集会の様子

助名誉教授からの問いかけにも、排水管清掃業者としての知見を示し、滞りなく終了することができました。



Singapore

7月に海外視察実施 シンガポール4日間を予定

当協会は2025年7月8日(火)～11日(金)の4日間、海外視察を実施します。今年度は、高度な浄水技術が導入されているシンガポールを予定しています。

◆ 行程

7月8日(火) (宿泊：シンガポール市内)	午後 シンガポール・チャンギ国際空港(各空港より空路)
7月9日(水) (宿泊：シンガポール市内)	終日 シンガポール市内視察
7月10日(木) (宿泊：シンガポール市内)	終日 自由行動
7月11日(金)	午前 自由行動 午後 シンガポール・チャンギ国際空港(空路・各空港にて解散)

RIDGID

FlexShaft®



ケーブル先端のチェーンが広がり
管内壁まで効率よく清掃可能

製品に関するお問い合わせ

日本エマソン株式会社 プロフェッショナルツール事業部

〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館17階

TEL: 03-4572-6881

FAX: 03-4496-4286

Mail: RIDGID-CS@emerson.com



AC電源不要!

手軽に持ち運べてパワフルに清掃

※ご使用には充電式ドリルドライバが必要です。

2024年度臨時理事会

規約改正や海外視察など協議

当協会は、2024年度臨時理事会を1月22日午後2時から、東京・新橋の「リロの会議室Forum S 5」とWebのハイブリッド形式で開催しました。

定款34条により上之原靖理事長を議長に選出後、①各支部理事割当数②各規程類改正③委員会報告④2025年度委員会事業計画案・収支予算案⑤厚生労働科学研究費補助金研究事業の協力依頼⑥全国油脂事業協同組合連合会からの事業協力要請⑦海外研修などについて審議しました。

◆ 各支部理事割当数について

2025年度が理事改選年に当たることから、前回理事会で発足した理事選出委員会より、役員選任規程(第7条2項～4項)に基づき、現会員数(2025年1月22日時点258社)を基にした各支部理事割当数資料が提出され、調整後の各支部理事割当数は今期同様25人(北海道2人／東北・北関東3人／東京5人／南関東3人／中部・北陸2人／近畿5人／中国・四国2人／九州・沖縄3人)とすることを承認。

◆ 各規程類の改正について

委員会規約の改正については、規約第2条2項の委員定数を「15名以内」から「25名以内」、同4条の副委員長定数を「1名」から「1名以上3名以内」にすることを承認。また表彰規程については、アイデア募集やコンクールなどの実施に関する文言を追加するとともに、賞金1件当たり10万円以内を最高額とし、賞金総額50万円以内とすることを承認。

会計規程については、行政用語からわかりやすい文言への言い換えや不要な文言の削除箇所などを確認し、変更案を承認。

◆ 2025年度委員会事業計画案・収支予算案

次年度より、事業計画については担当する委員会では内容を精査することになったことから、各委員会から提出された事業計画案について確認し、原案どおり承認。

◆ 海外視察の実施

第3回常務理事会で協議・決定したシンガポール視察研修について審議し、2025年7月8～11日の4日間で実施することを承認(2ページ参照)。今後、具体的なスケジュールを決定し、3～4月中旬まで募集を行うこ

とを確認。

◆ 厚生労働科学研究費補助金研究事業の協力について

国立保健医療科学院生活環境研究部が受託している「デジタル技術を活用した建築物環境衛生管理基準の達成等に向けた検証研究」(2023～2025年度)について、研究班会議(全体会議)および水管理部会に参加し、研究内容に関する助言・情報提供への協力依頼への対応を協議。排水設備の維持管理における定期点検時のデジタル化の検証が中心になることを確認するとともに、当協会としても協力していくことを承認。

◆ 全国油脂事業協同組合連合会からの事業協力要請

第3回常務理事会において、全国油脂事業協同組合連合会とグリストラップの浮上油の回収について意見交換した内容を踏まえ、継続協議していくことを承認。

建築物排水管清掃技士資格講習 愛知で開催

当協会は1月16・17日に愛知県小牧市のポリテクセンター中部で、2024年度第5回目の建築物排水管清掃技士資格講習を実施しました。

1日目のガイダンス後に理解度テスト(40分)を実施。その後、受講者は4班に分かれて、「室内枝管高圧洗浄」「共用管高圧洗浄」「ワイヤ清掃」「内視鏡調査」の4課題について、指導員の実演と説明を聞いた上で実技講習を受講しました。2日目には接客対応や技術力を確認する実技試験を行い、受講者にとって充実した講習となりました。

また、会場では機器展示会を併設し、アサダ(株)、ORDEM(株)、(株)カンツール、(株)シンショー、日本エマソン(株)プロフェッショナルツール事業部、(株)マルナカ、レッキス工業(株)の7社(五十音順)が出展しました。



室内枝管高圧洗浄の実技講習の様子

内視鏡調査の実技講習



渡邊 成 さん
(42歳)

株式会社神戸リフォーム・サービス
代表取締役
理事、近畿支部副支部長

座右の銘▶いつも心に太陽を！
趣味・特技▶映画鑑賞、旅行、スポーツ観戦、ゴルフ

独立起業は「考えてもいなかった」

弊社は2008年に設立し、2010年に法人化した会社で、現在16期目になります。2001年に「有限会社神戸リフォーム」に入社し、そのあと独立開業しました。

もともと自分自身に独立志向があったわけではありませんが、すでに結婚して子どもがいたこと、また家族の病気などの事情もあり、時間や業務が調整しやすいほうがいいと考えて、独立を決めました。

辞める際には取引先の管理会社数社から「当社にこないか」と誘われ、気心の知れた同級生（現在の専務）にも転職することを勧められましたが、すでに独立開業の意志が固まっていました。当時お世話になっていた会社の社長からも背中を押してもらえ、自分自身も「やってみたい」という気持ちがあったのだらうと感じています。

排水管清掃業務が5割占める

排水管清掃は高圧洗浄車や洗浄機器類などの設備投資が必要ですので、スタート時は初期投資が少ないハウスクリーニングから始め、2、3年経ったところから少しずつ設備を整えて、2014年から排水管清掃業に参入しました（同年10月登録）。現在の業務は、排水管清掃業が約5割、ハウスクリーニングが約3割、貯水槽清掃や工事・点検などの業務が2割程度となっています。

受託先は民間・公共が半々で、市営・県営住宅、分譲マンションですが、兵庫県では公営住宅は民間管理会社の包括管理となっていますので、実質的には管理会社からの受注です。貯水槽清掃は神戸市の公立学校などでも対応しています。

スタート時は受注がないため、在職中にお世話になっていた会社に応援に行って日給をいただく状況が続いていました。その合間を縫って、お世話になった管理会社や工務店、施設などに営業を重ねました。現在でも、最初にお世話になった取引先からの仕事が大半となります。社会情勢などの影響で利益面のムラはありますが、売上自体は創業以降、緩やかながらですが右肩上がりです。

社員数は事務職含めて22～23人、1人親方などの協力先、アルバイトを含めると約30人。独立時は1人でしたが、3年目に事業パートナーになってくれた専務が、社員第1号です。その後、入れ替わりはありましたが、組織体制を見直した10年目が経過したところから少しずつ増えていきました。

新社屋整備で気持ち新たに

創業から6、7年が経ち、仕事も軌道に乗り始めたことから、2014年に土地を購入し新社屋を建設しました。高圧洗浄車の保有や使用機器類の保管庫の整備といった登録要件を満たすため、物理的な必要に迫られたこともありますが、マンションの1室だった事務所から“自分の城”を持ったことで、「一生この仕事をやっていくんだ」と、改めて身の引き締まる思いでした。それから10年が経ち、そろそろ手狭になってきたので、現在また物件を探しているところです。

地盤を確立した後、就業規則や福利厚生制度、経営指針などを策定しました。それまでも、目標を立てて取り組んできましたが、10年目ぐらいまでは組織として確立できていませんでした。会社で働いてもらうということは、社員の人生を背負うということであり、会社として就労環境の整備・改善を図らないと、誰も来てくれません。多くの人に入社していただき、かつ長く勤めてもらうためには労務体制を整備しないといけないとの思いに至り、1つずつ体制を見直しました。

そういった見直し・改善を積み重ねた結果、離職率も減ってきています。特に、弊社の場合は有給休暇の消化率は高く、総じて希望のタイミングで取得できていると思います。

経営指針には、プロフェッショナルとして「スペシャリスト」を目指すため、10のこだわりを掲げました。排

水管清掃を含めメンテナンス業は、技術職とサービス業が融合した業種であり、人間力が求められます。接客や相手の理解度を高める努力なども含めて、そういったこだわりを含めました。

センスが問われる奥深い仕事

私は、家庭の事情で中学生のときに岡山から関西に出てきて、一人暮らしをしていました。毎日、自分で掃除・洗濯をしていましたが、不思議と苦に感じることはありませんでしたので、清掃・メンテナンスが性に合っていた、好きなんだと思います。ですので、メンテナンス業務も「きつい、大変だ」というよりも、「楽しく、やりがいがある」と感じる人が多いですね。

排水管清掃を含めたメンテナンス業は、現場によって対応策もそれぞれですが、技術や知識、個性を加えながら仕上げていくセンスが求められます。新しいものを生み出すときにもその要素はありますが、この汚れた現場をどこまできれいにできるのか、色を塗り直すのか磨くのか、そこに維持管理の奥深さ、趣があると感じています。

それらが合致したときに、お客様からお喜びいただける。美的センスが必要であり、アイデアなども非常に問われますが、だからこそ楽しく、自分の性に合っていると思います。

また、緊急性が高く、不規則・長時間業務も多いことから、従事するスタッフは大変だと思います。しかし、漏水や詰まりなどのトラブルを解消し予防することで、お客様から感謝され、頼りにしていただけます。お客様が喜ぶ姿をみると達成感がありますし、生活に欠かせない、安心を届けるやりがいのある仕事だと実感します。そういった目の前の仕事を積み重ねてきた結果が、16年続いたポイントだと思います。

また、専務は独立前から公私にわたりお世話になり、創業後は右腕として経営を支えてくれています。こうした気心の知れたパートナーの存在も、会社を続けていくモチベーションになっています。

月1回の「内勤日」

排水管清掃業は、緊急かつ現場作業がメインで、普段から現場と内勤者同士の接点が少なく、特にコロナ禍では、スタッフ間のコミュニケーションや会社としての統率感が希薄になってしまいました。社内からも「チームワークをしっかりと持ちたい」との意見もありましたので、2022年から毎月第2月曜日を「内勤日」として、現場作業を止める・受託しない日を設定しました。

この日は必ず全員が出社して、有休も休暇も取得できません。取引先にも「会社の品質向上や顧客満足度の向上につなげるため、対外的な業務は行わない」ことを発信しました。さまざまなご意見はいただきましたが、「ぶれずにやろう、必要なことだ」と決めていましたので、説明を重ねてご理解いただくようにしました。

午前中は研修や設備機器類の点検・整備を行い、午後は会議や会食、レクリエーションなどをを行います。また、事例研究にも取り組んでおり、事故やクレーム事例、成功事例、お客様から喜んでいただいた事案について報告し、ディスカッションしています。

排水管清掃は緊急の現場で決断力やスピードが求められますので、これら情報を共有し迅速かつきめ細かな対応につなげています。さらに、発表内容は事例資料としてまとめ、当社の歴史や業務実態を知ってもらう“生きた資料”として、新入社員の研修にも活用しています。始めてから2年が経ちますが、皆で会社を考えていくという意識付けとしては、非常に手ごたえを感じています。

他にも、当社に興味を持った人に会社の雰囲気伝えたい、社員の家族にどういった会社に勤めているのかを伝え、安心してもらう、誇りに感じてほしいという想いから、2024年からInstagramやブログなどのSNSも始めました。意外と反響があり、会社の見える化ツールの1つとして重宝しています。

縁を作り続けたい

会社の目標として、縁でつながった他人同士の社員全員が、納得し、豊かになり、いい人生が送れるということを目指したいと思っています。少しでもやりがいを感じ、「この会社に携われてよかった」と思えるような縁を作り続けたい。私は、そこにこだわり続けるということが目標です。

また、メンテナンス業自体の存在意義を認めてもらいたいという思いもあります。エッセンシャルワーカーとして必要不可欠な仕事である一方、その価値が認識されていないからこそ、若い人たちがこの仕事に就きたいと思わないのだと考えています。

仕事の価値を適正に理解し、適正に評価されること。これに尽きると思います。それが適正価格に反映されれば、家族や自身の生活が豊かになるでしょう。業界全体で価値を高め、その適正価格が業界相場として維持されるよう、私も協会活動を通じて微力ながらお手伝いできればと考えています。

給水給湯樹脂管を水平リサイクル

積水ハウス(株)と(株)ブリヂストンは、積水ハウスの住宅で使用する給水給湯樹脂配管について、新築施工時に排出される端材を同製品部材に水平リサイクル(クローズドループリサイクル)する取り組みを開始しました。

積水ハウスでは、独自の資源循環システム「積水ハウスゼロエミッションシステム」を導入し、新築施工・や改修時に排出される廃棄物を、全国21カ所の自社施設「資源循環センター」で回収・リサイクルしています。給水給湯樹脂配管の端材については、内管がマテリアルリサイクルの難しい素材であることが多く、主に熱エネルギーとして再資源化していました。

一方、ブリヂストンの給水給湯樹脂配管の内管は、マテリアルリサイクルが可能な熱可塑性樹脂であるポリブテンパイプを使用し、製造工程で出る端材等は再度原材料に戻していましたが、施工時に出る端材はその対応が難しい状況でした。

今回の取り組みでは、積水ハウスが回収したブリヂストン製ポリブテンパイプを再生材メーカーでリサイクルペレット化してブリヂストンに還元し、給水給湯樹脂配管の製造に使用します。これにより、積水ハウスの新築施工時に排出されるブリヂストン製給水給湯樹脂配管端材の70%超が水平リサイクルされるようになります。他の用途にリサイクルされる端材を含め

ると、全体でほぼ100%がマテリアルリサイクルされることになります。

首都圏13%増と予測

不動産経済研究所が発表した首都圏・近畿圏マンション市場予測によると、2025年のマンション供給は、首都圏が前年比13.0%増の2.6万戸、近畿圏が前年同水準の1.5万戸と予測しています。首都圏は東京23区が大幅増となり市場をけん引、近畿圏は郊外シフトの動きが活発化すると分析しています。

2024年は、首都圏が前年比14.4%減の2万3,003戸と1973年以降で最少となり、近畿圏は同1.6%減の1万5,137戸で、3年連続で減少しました。

新設住宅着工は前年比3.4%減

国土交通省が発表した新設住宅着工戸数統計によると、2024年(1~12月)は前年比3.4%減の79万2,098戸となり、2年連続で減少しました。持家(同2.8%減)・貸家(同0.5%減)・分譲住宅(同8.5%減)いずれも減少しました。

地域別でも、首都圏が28万5,447戸・同2.9%減、近畿圏が13万2,140戸・0.5%減と2年連続でマイナス、中部圏は9万1,602戸・同1.4%減と、3年連続でマイナスとなりました。

働き方改革・効率UP

事務作業大幅に軽減

特許取得済み

作業員管理

日程変更

印トリ

写真

報告書

排水管清掃作業全て自動化

IT補助金対象

3ライセンス料込

月/～80,000

3ヶ月間お試し

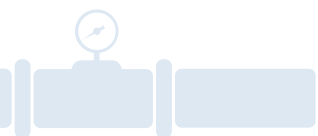
無料

10社限定

導入のご相談はこちら

048-712-0010

本社 〒336-0923
 埼玉県さいたま市緑区大間木 3-5-12
<https://ordem.co.jp/site/about-us/>



企業倒産は3年連続増加

東京商工リサーチによると、2024年の全国企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、前年比15.1%増の1万6件、負債総額は前年比2.4%減の2兆3,435億3,800万円でした。倒産件数は3年連続で増加し、2013年(1万855件)以来11年ぶりに1万件を超えています。負債総額は3年連続で2兆円台となりました。

負債額別では、負債1億円未満が7,478件(前年比15.1%増)と全体の74.7%(前年74.7%)を占め、近年の小規模倒産中心の傾向は変わっていないと指摘。さらに、負債1億円以上5億円未満は2,001件(同15.3%増)、同5億円以上10億円未満は305件(同21.0%増)、同10億円以上50億円未満は187件(同11.3%増)と、

■ 2024年産業別倒産状況

産業	件数			負債総額(百万円)		
	24年	23年	前年比	24年	23年	前年比
農・林・漁・鉱業	113	93	21.50%	31,216	17,335	80.07%
建設業	1,924	1,693	13.64%	198,458	184,310	7.67%
製造業	1,141	977	16.78%	939,832	888,066	5.82%
卸売業	1,214	960	26.45%	233,855	292,359	▲20.01%
小売業	1,098	939	16.93%	211,750	123,356	71.65%
金融・保険業	25	35	▲28.57%	109,128	6,200	1660.12%
不動産業	280	288	▲2.77%	80,708	104,415	▲22.70%
運輸業	457	416	9.85%	85,435	94,424	▲9.51%
情報通信業	425	349	21.77%	76,650	26,048	194.26%
サービス業他	3,329	2,940	13.23%	376,506	666,132	▲43.47%
合計	10,006	8,690	15.14%	2,343,538	2,402,645	▲2.46%

中堅規模の倒産増加も続いています。

産業別では、10産業のうち「金融・保険業」「不動産業」をのぞく8産業で前年を上回りました。最も件数が多かったのは「サービス業他」の3,329件で、前年比13.2%増と3年連続で前年を上回るとともに、1990年以降で初めて3,000件台となっています(表参照)。次いで、人手不足や資材価格の高騰、時間外労働の上限規制(2024年問題)が適用された「建設業」が1,924件(同13.6%増)、「卸売業」が1,214件(同26.4%増)といずれも3年連続で増加しました。

地区別では、2年連続で9地区(北海道、東北、関東、中部、北陸、近畿、中国、四国、九州)すべてで前年を上回りました。

「水道カルテ」を公表

国土交通省はすべての水道事業者等(簡易水道事業者を除く水道事業者および水道用水供給事業者)の経営と基幹管路、浄水施設、配水池の耐震化の現状を簡易に図示した「水道カルテ」を公表しました。

料金回収率と耐震化率等を指標として設定し、視覚的に現状確認や他の水道事業者等との比較を可能にしており、全国データ以外に都道府県別データも確認することができます。



▲「水道カルテ」はココから



お問合せ：東京 TEL 03-3459-0051
大阪 TEL 06-6375-1421

<http://www.nihonjouka.co.jp>
E-mail: eigyo@nihonjouka.co.jp



衛生的な快適環境を求めて 建築物の維持・管理を化学の力でサポート！

排水管洗浄剤

ジョーカルシリーズ

厨房・浴室・洗面等、排水管のつまりや臭気を解決する強力化学洗浄剤。



循環浴槽・給水給湯配管洗浄剤

ラストフラッシュ ハイチーム CA(分解剤)

柔らかいスケールや鉄さび、有機物、レジオネラ属菌等の除去に特化した強力化学洗浄剤。



尿石除去剤

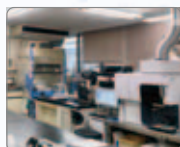
ストールシリーズ

小便器及び污水管に付着している尿石スケールを溶解・抑制する強力化学洗浄剤。



水質分析サービス

飲料水分析 工業水分析
レジオネラ属菌分析 環境計量分析
安心と安全のために正確な解析結果をお約束します。



■化学洗浄剤の総合メーカー ■水質分析・調査

日本漕化化学株式会社

本社：
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-2-2 30森ビル
TEL.03(3459)0051(代) FAX03(3459)0081

大阪支社：TEL 06-6375-1421
品川工場：TEL 03-3493-4431
テクニカルセンター：TEL.03-3798-0091

2024年度建築物排水管清掃作業 従事者研修 [大阪]

大阪会場 受講者 28人 2025年2月6日
大阪ビルメンテナンス協会研修室(大阪府大阪市)

1. 建築物衛生法と関係法令および
排水管清掃作業の安全と衛生

桑原 大輔講師
(一社・全国管洗浄協会)



2. 排水設備概論
3. 点検診断・検査

坂本 満寿雄講師
(一社・全国管洗浄協会)



5. 排水設備の清掃実務および
清掃機器の使用法
6. 業務管理一般論

長谷 大講師
(一社・全国管洗浄協会)



会員だより

◇新入会員(敬称略)

【九州支部】

福設サービス(株)

代表者=向井忠義(代表取締役社長)

〒803-0836 福岡県北九州市小倉北区

中井1-25-6

(2025年2月入会)

TEL 093-561-7174

FAX 093-561-7185

紹介者(推薦者)=(株)日本パイプクリーニング

◇事務所移転

【東北・北関東支部】

(株)クリーンエースカンパニー

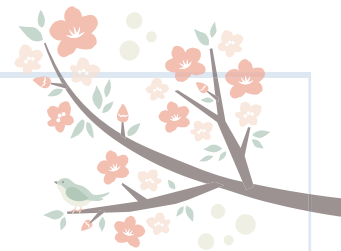
〒272-0138 千葉県市川市南行徳1-19-7

TAKUMI BLD

TEL 047-314-8372

FAX 047-314-8373

(2024年8月)



2025年度建築物排水管清掃技士資格講習(開催決定分)

開催日	会場	募集人員
5月8・9日(木・金)	(神奈川) 横浜産業貿易センタービル (神奈川県横浜市中区山下町2)	20名

見ておくれやす

夜中じゅう降り積もった一面の雪。キンと冷えた快晴の朝、雪かきから一日が始まる▼玄関を出ると陽が降り注ぐのに息が凍るほど寒い。まずはスコップで道路までの細い通り道を作る。我が家を見回し、さて、どこから手をつけよう？▼私が敷地奥からスコップで少しずつ雪をかき出し、その山を夫が近隣雪捨て場まで運ぶ。ベテラン夫婦の連携作業だ。端から少しずつ少しずつ雪が無くなっていく▼雪国の人はついつい、スコップ跡が綺麗に平行線を描き雪一粒残さぬような雪かきにこだわってしまう。全て終わる頃には汗だくでクタクタだけれども心地良い達成感！▼子供の頃はあれほど大嫌いだっただ雪かき。今も冬が来る度に憂鬱にはなるものの、終わった後の爽快感は雪国の大人しか味わえない悦楽なのかも知れない。

〔株〕につかん 中道 純子

第49回

雪かき

